

三人の子の母として

私が子供の教育に就いてのお話等は、ほんとにお恥づかしい次第でございます。私どもには、十一歳、十歳、八歳の三人の子供がございますが、未だ小さくて未成品でございますし、私自身も一向皆様のやうに御立派な考もございませんから、かれこれ申し上げるにも氣がとがめます。

私は只今はなくなりましたが以前あつた明治女學校を卒業後、上野の音樂學校を出したので、かうして家庭に這入つてしまひますれば、音樂等に熱心になりましたのも昔のやうに思はれましてございますが、こんな事から子供達が音樂にどんな興味を持つてゐるかい、よく氣がついて目につきますのでございます。

主人が廣島の高等師範に教授をして居りました頃、廣島にミッション・スクウルがございまして、その校長さんがミス・ゲーンズと云ふ方で、私の實家の叔父(註、新戸部博士)の家内が西洋人なもので、ミス・

文部省督學官夫人 塚原はま子

ゲーンズと御親しく交際いたして居りました關係から、ミッション・スクウルに音樂の教師がちようど缺員で非常に困つてゐるから是非私に來てくれとおつしやるのでした。私も家庭があつて多忙ですのでも再三おことわりしましたが、是非と云はれて、一週に一日ならばと御受けして居つた事がございました。其の中に長男が誕生致しまして、尙更多忙になつてしまひましたが、急に御ことわりも出來なくて四年程ながびいて居りました。

其頃なるべく簡易生活にと存じまして、女中も一人しか使つて居りませんので、私が學校に出てゐます間に、女中は赤んぼのお守と臺所と二つで、それはく困つてゐるのです。私も何とかもう少し樂にしてやりたい、それには赤坊をあまり女中からめないやうにすればいい、と思つてゐる中、ふとオールゴール附きの時計を買ひ求めました。すると赤坊は大層オールゴールの音がすきらしく、ちつと耳

を傾けてゐるのを見ましたので、私も一案をたて、赤坊を寢せて、その枕許にいつもオルゴールの時計を仕かけてやりましたら、「コロン、コロン」云ふやさしい静かな音が、子守唄のやうな感じを赤坊に與へますのでせうか。ちつと聞いてゐる中に、すやすやと眼つてしまひます。女中はオルゴールさへしかけて置けば、坊ちゃんはおとなしくしていらつしやるから、私の手がはぶけて結構ですと、喜んで居りました。ひとつ、おためしなすつて御らんないまし。

又私が音楽學校に居りました時に使用したオルガンが宅にございました。長男はオルゴールにお守をさせて育てたせいとか、音楽が好きになりましたとオルガンをいたづらして居ります中に、やさしい唱歌が弾けるやうになりました。其の中に次男が生まれまして、長男に教はつて唱歌をひいてゐる中に、これはまた大變によく進歩致しまして、次男は全く音楽が大好きになりました。

然しこの時分に、私の主人の友人で銀行家でお子様が學習院に通學していらつしやる方がありまして。其の御宅では、お嬢さん方がピアノの御稽古

してゐらつしやるので、兄さん方がいつの間にか音楽が皆好きになりました。さうして此處に困つた事には、御長男がどうも音楽家として一生暮らしたいといふ事を主張されるので、其の御長男は學習院に於いても優等な御成績なので、お父さんはゆくゆくは大學を卒業させてと楽しみにして居られたところ、どうしても高等學校などには入學しないと云はれるのでした、御両親はどうしたものか、と私共のところ、御相談に來られたのでした。

勿論主人も私も、何も音楽家はいけないものではない、それほど本人が希望するものなら仕方がない事でありますが、現在の日本の社會状態としては、藝術家として生活費を得るのはひどく困難な事でありませうから、趣味としてなら、繪でも音楽でも非常に結構でありませう、と云ふやうなお話をしました。

この事がありましたから、主人と私とは、子供等が餘りオルガンに夢中になつてゐるのが、少し心配になり出しました。そして私どものやうな家庭状態では、どうしても子供が自活して生活してゆける位の間になつて貰はないと困ると思ひ、子供たちの音楽に對する注意をだん／＼に遠ざけるやうにし

て、オルガンも他にやつてしまつたのでござい
ます。その中に三番目に娘が生まれまして、今年八つに
なり、上の兄たちと一緒に誠之小學校に通學し始め
ましたから、娘にはそろ／＼音楽の趣味を養つてや
らねばならぬ頃と思つて居ります。

私どもは、子供の身體に一層の注意を拂ふやうに
致して居ります。これも廣島に居りました頃のお話
でございませう。私どもは一昨年東京にまゐりました
ので、それ迄十一年間廣島に居りましたから、廣島
には色々の思出があるので御座ります。其の頃、主
人の友達で、米國の大學で教育學を専攻して歸朝さ
れた、大層新しい思想を持つた方がありましたが、
其の方にもお子様が私どもと同年の方がございま
した。其の方のお宅では、何でもお子様が望むま
まにさせて置く、放任して置いて、小さい時から抗抵
力を養ふのだと云つて居られました通り、食物等に
ついては、お子様の食べたいものを上げて置きました
た。そのせいから、廣島は疫痢の多い所でございま
すから、疫痢には罹かるデフテリイには罹かる、奥様
はお身重な時にもかまはず病院に看護にゆかれる、
と云ふ大騒ぎをして居られました。

私どもでは、子供の食物等には注意をおこたらず
致します方で、主人は自分は十幾年間も病氣になら
ないのは、食物に注意したからで、飽食してはなら

ない、絶えず胃に餘裕を持たして置かねばならない、
と云つて、私にもさうするやうに勧めますので、私
もその通りに致して居りますが、主人も私も肥つて
丈夫でございませう。子供達にも、この主義で、食物
を選んで與へて居ります。長男はもう十一歳にもな
つて居りますから、そろ／＼大人の食物に移つて行
つてもよいと思つて居ります。それですから、子供
の食物と云ふ事に就いては、始終研究致したいと存
じて居ります。幸ひ近頃では、専門家の方々が子供
の食物に就いて研究を新聞雜誌に發表し、著述して
下さいますので、私は耳をたてゝ其等に氣をつけて
居ります。

時代に遅れませぬやうにと、唯今寸暇をぬすんで
帝大の聽講生となつて居りますが、私が聽講して居
る教育等の時間に、西洋の子供の例であります、
七つで學校に行つてゐる子と、七つで未だ家庭に
ゐる子とは、身體の發育上に大差があつて、家庭に
ゐる子の方がずつと發育がよく、學校に通ふ子が發育
の劣つて居るのは、餘り學校で勉強を無理にさせる
からであらうと、云ふ事を先生が話されました。私
は一理のある事と思ひ、子供達にも無理勉強はさせ
ずに、たゞ將來の爲め學問に對する興味は深くさせ
るやうにして置きました。中等高等學校を進むにつ
れて勉強を多くさせようと思つて居ります。唯今は
身體健全を第一に心がけて居ります。